

採 択 年 度

2011 年度

氏 名

山口 崇

所 属 機 関

手稲溪仁会病院 総合内科・緩和ケアチーム

課 題 名

がん患者の呼吸困難に対するオキシコドンとモルヒネの有効性に関する無作為化比較研究

助 成 額

1,500,000 円

研究報告概要

現在、がん患者の呼吸困難に対しては各国のガイドラインでもモルヒネの投与が推奨されている。しかしながら、モルヒネは腎機能障害時に代謝産物の蓄積の影響で副作用が増強する恐れがある。一方、オキシコドンは本邦では使用頻度の高いオピオイド製剤であり、腎機能障害合併時でも安全に使用できる。しかしながら、これまでオキシコドンのがん患者における呼吸困難に対する効果を検討した比較研究は無く、症例報告と観察研究があるのみである。本研究はオキシコドンとモルヒネのがん患者における呼吸困難に対する効果を比較することを目的としている。

本研究は、疼痛に対してオキシコドン徐放剤を定期投与されている患者で呼吸困難を有する患者を対象とした多施設単盲検無作為化比較試験である。参加者はオキシコドン速放製剤とモルヒネ速放製剤のいずれかを投与する群に無作為に割り付けられ、割り付けられた試験薬を単回投与する。試験薬投与前・60 分後・120 分後の呼吸困難 NRS を測定し、各群の呼吸困難 NRS 変化の平均を主要評価項目とする。

本研究の結果により、がん患者における呼吸困難の治療選択肢が広がり、特に腎機能障害合併患者における安全な治療法の提供が可能になる可能性がある。

本研究はヘルシンキ宣言および厚生労働省の臨床研究倫理指針に基づいて行われる。